

教育目標『ふるさとを愛し 自ら考え たくましく生きる児童の育成』

～思いやりのある子・進んで学ぶ子・たくましい子～



松小だより

令和6年11月18日(月)

学校通信 第31号

発行 学校長

電話 027-393-1521

※個人情報の取扱にご留意ください。

〈松井田小ホームページ <http://www.annaka.ed.jp/shin-matsuida/>〉

Smile Band 最終公演まで 残り5日

～中学生の「思いと心」を胸に抱いて～

11月15日(金)夜に、松井田中学校の美術部顧問が来校されました。「遅くなって申し訳ありません。美術部からのメッセージを持ってきました！」その手には1枚の紙が握られていました。「Smie Bandの最後の演奏に、美術部として横断幕を制作することで応援することができて、本当に嬉しく思います。部員全員が一生懸命制作しました。頑張ってください！」顧問の言葉と共に贈られたメッセージが裏面です。横断幕は11月12日(火)に受け取っていましたが、その後、部員の思いと心をメッセージに込めて届けてくださいました。



このメッセージや写真を見ながら、美術部の部員たちがどんな思いで筆を動かしてくれていたのだろうと想像すると、すでにこの文章を入力している段階で涙が止まりません。こんなにも素晴らしい中学生の真心を受け取って奮い立たない人間はいません。現在、多くの卒業生、商店街の方、かつて本校に勤務された先生などから、「応援に行くので、子供たちに頑張るように伝えてください！」と、毎日のように電話やメッセージが寄せられ続けています。この最終公演がどれだけ重みのあるイベントなのかということも、日増しに強く感じるようになりました。

私が野球の現役選手だった頃、尊敬してたプロ野球選手の一人に、ミスター・タイガースこと「掛布雅之」選手がいます。彼の背番号は「31」。当時最強軍団であった「読売巨人軍」ことジャイアンツに勝つためには、「人の2倍努力するのでは足りない、人の3倍努力して1番になる」と心に誓って、その思いをいつも忘れないようにと背番号を「31」にしたそうです。華やかな活躍の陰には必ず歯をくいしばって努力する姿があります。MLBの大谷翔平選手も、テレビ画面の笑顔の裏ではきっとたゆまぬ努力を続けたに違いありません。私が現役だった頃は、「試合で笑って練習で泣け」とよく言われました。本校の子供たちに最も克服してほしい課題は「たくましさ」です。失敗を恐れずに一歩を踏み出す勇氣、挑戦する心……。2学期始業式の講話で使用したスライドショーを保護者の皆様へ本校ホームページでご覧いただいたのは、こうした思いや願いを共有するためです。おかげさまで、運動会、安中市小学校音楽発表会、細野小学校での演奏など、大舞台を経験するたびに、子供たちのたくましく成長する姿を感じるようになってきました。子供たちの最後の演奏が、最高の思い出になるように、少しでもよい演奏ができるように、私たちは残り5日間、叱咤激励を続けていきます。ぜひご家庭においても、お子様が最高のモチベーションで当日を迎えることができるよう、ご支援をよろしく願います。



昭和46年2月23日、本校の前身である松井田町立第一小学校のトランペット鼓隊が産声を上げ、45名の児童が群馬県スポーツセンター(前橋市)で開催された第1回群馬県小学校管楽器交歓演奏会に参加したのが、学校に残る最も古い記録です。平成2年から令和元年まで続いた「松井田ふるさとまつり」では、第七小学校までの子供たちが、ふるさとの町並みを音楽で彩ってくれました。トランペット鼓隊誕生から53年、最後の舞台は整いました。これまでマーチングを大切に受け継いできたたくさんの皆様の声援を小さな体全身に浴びて、そして様々な思いを胸に抱き、偉大な子供たちは6日後に出陣します……。



松井田小学校のみなさんへ

この横断幕は、松井田小学校のみなさんのために、私達松井田中美術部が、全員で心を込めて作りました。最後のマーチングを、みんなで楽しく地域の人たちに届けてください。応援しています。



2024.11.12

松井田中美術部より